

令和7年度【出石精和園第2成人寮】地域連携推進会議 議事録

事業所名： 出石精和園第2成人寮

開催日時： 令和7年11月6日（木）14：20～15：50

開催場所： 出石精和園第2・第3成人寮 ボランティア室

出席者： 利用者代表、利用者家族代表、地域関係者、

福祉・経営について知見を有する者、市職員、施設職員 参加者 計9名

会議次第

- 1 園長挨拶
- 2 自己紹介
- 3 施設見学・食事体験
- 4 事業所説明
- 5 質疑応答

意見交換内容

【福祉・経営について知見を有する者より】

○医療的ケアが必要な利用者はいるか。

→現在は尿道カテーテル設置している方が1名いるのみ。

→経管栄養や酸素注入等については、他者が抜去してしまったり触ってしまったりし、安全が確保できない可能性があるため、そのようなケアは行っていない。

→当園は生活の場である。療養の場とは別として考えている。

○夜間の緊急時対応について、工夫していることはあるか。

→職員間の情報共有、緊急時対応訓練、タブレットを活用した情報提供等を行っている。

→リーダー・サビ管・課長等への連絡系統を明確にし、応援体制を整えられるようにしている。

○人員不足もあるかと思うが研修開催で工夫していることはなにか。

→複数回の開催、短時間での研修、ウェブ研修の活用などの工夫をしている。

→動画を作成し、勤務時間内に視聴できるようにしている。

○食事中、BGMがあっても良かった（中には刺激になる方もいるかもしれないが）

→かけている時もある。意見を共有する。

○カロリー管理について、その方に見合った提供量になっているか。

→管理栄養士中心に栄養管理をしている。また毎月体重測定をし、栄養ケアカンファレンスを開催して情報共有・意見交換し、提供量・食事形態等について見直している。

○入浴時の湯温の確認について、やけどでの死亡事故も他でニュースになっている。

→温度計を使用している。

→手袋をして介助をしているため、着用したまま確認しても適温かわからないかもしれない。素手で確認するよう周知しているところ。

○人員不足について、現在の人員を大切にしたいと思っている。人員の確保について、何か取り組まれているか。

→事業団の職員紹介制度について説明。

○誤嚥のおこりやすい方もあると思う。嚥下の研修や主治医と連携し検査を進める方もある。（情報提供）

→参考にさせていただく。

○福祉ネイルを実施しているところがある。（情報提供）

→当事業所でも利用している。

【市職員・地域関係者より】

○地域との連携や交流について、以前（コロナ禍前）はよく交流していた。現状どうか。

→可能な範囲で地域の行事等に参加している。

→市職員より、町内コミュニティでの写真コンテストの紹介あり。参加を検討する。

【市職員より】

○虐待防止の難しさと支援の在り方について。虐待防止研修について、講師はどのような人がしているか。

→今年度は虐待防止・権利擁護部会の部会員が講師をしている。外部に依頼することもある。また、外部研修へも参加している。

【地域関係者より】

○虐待事案は、身近に感じている。研修も継続してほしい。

→今回のように第三者の方に来園いただくことで、こちらにも刺激になる。情報共有を継続したい。

【利用者家族より】

○「虐待」と聞くと難しく感じる。受け手側は虐待とっていないこともあるのではないか。

→第三者から見て疑わしい行動はしないよう伝えている。こだわり行動への対応をする中で不適切な支援が起こることも考えられる。支援の工夫をし、継続的な改善を図っている。

○夜勤が各棟1人で、大変ではないかと感じた。

→経営面から人員確保の難しさがある。

→勤務者で協力体制をとり、可能な範囲で安全を守る努力をしている。